

栃木県がん検診実施状況報告書

(概 要 版)

令和 2 (2020) 年 3 月

栃木県保健福祉部健康増進課

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市町及び検診実施機関で行われたがん検診の実施状況や精度管理の状況を把握・評価することを目的に、健康増進法（平成14年法律第103号）第19条の2に基づく健康増進事業として市町が実施したがん検診の実施状況を調査したものである（調査時点：令和元（2019）年9月30日）。

2 調査内容

(1) がん検診の実施体制

直近のがん検診の実施体制について調査した。

(2) がん検診（スクリーニング）の結果

平成30（2018）年度におけるがん検診（スクリーニング）の実施状況について調査した。

(3) がん検診（精密検査）の結果

平成29（2017）年度におけるがん検診受診者のうち要精密検査であった者の精密検査（以下「精検」という。）の結果について調査した。

※ 主な変更点（国の地域保健・健康増進事業報告に準拠）

ア 大腸がんは精検結果において「腺腫」を新たに把握することとしたこと。

イ がん検診対象者数は「全住民」及び「国民健康保険の被保険者」を新たに把握することとしたこと。

3 集計方法

市町からの報告（宇都宮市を除く）を広域健康福祉センターで1次集計し、宇都宮市及び広域健康福祉センターの集計分を栃木県健康増進課で2次集計した。

4 対象者数の算出について

- (1) がん検診対象者数（別表参照）については、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年3月 がん検診事業の評価に関する委員会）及び「市町村がん検診事業の充実強化について」（平成21年3月18日付け健総発第0318001号 厚生労働省健康局総務課長通知）に示された以下の算出方法を用いた。

市町村事業におけるがん検診対象者数＝市町村人口－就労者数＋農林水産従事者数
* 「市町村人口」等は、平成27年度国勢調査報告書（総務省統計局）の40歳以上（胃がんは50歳以上、子宮頸がんは20歳以上）
* 男女ごとに算出

- (2) 各比率の算出に当たっては、原則、算出対象年度ごとに、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」（平成20年3月31日付け健発第0331058号 厚生労働省健康局長通知）による各がん検診の対象年齢及び検査項目を受診している者を対象とした。

5 この調査に用いる主な比率及び用語の解説

- (1) 受診率：がん検診対象者のうち、実際に検診を受けた者の割合

【計算式】

$$\text{受診率}(\%) = \text{受診者数} \div \text{検診対象者数} \times 100 \quad \text{※図} \quad \text{②} \div \text{①} \times 100$$

※ ただし、胃がん、乳がん、子宮頸がんは、次の算出方法による。

$$\text{受診率}(\%) = (\text{前年度の受診者数} + \text{当該年度の受診者数} - \text{前年度及び当該年度における2年連続受診者数}) \div \text{当該年度の対象者数} \times 100$$

(解説)

- ・受診率は高いことが望ましい。

(2) 要精検率：がん検診受診者のうち、診断結果が「精検が必要」とされた者（要精検者）の割合

【計算式】

$$\text{要精検率}(\%) = \text{要精検者数} \div \text{検診受診者数} \times 100 \quad \text{※図 } ③ \div ② \times 100$$

(解説)

- ・ 検診受診者の中でその疾患にかかっている者が多い場合には、一般に要精検率が高くなる。
- ・ 検診において、過度に要精検率が高い場合には、精検が必要でない者が「要精検」と判断されている可能性があり、逆に過度に要精検率が低い場合には、精検が必要な者が精検不要と判断されている可能性がある。

(3) 精検受診率：要精検者のうち、精検を受けた者の割合

【計算式】

$$\text{精検受診率}(\%) = \text{精検受診者数} \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } ④ \div ③ \times 100$$

(解説)

- ・ 精検受診率は高いことが望ましい。
- ・ 精検を受けなかった者（精検未受診者）が多い場合や、精検の結果が把握されていない者（精検結果未把握者）、精検を受診したか否かが把握できていない者（精検受診未把握者）が多い場合、精検受診率が低くなる。
- ・ 精検受診率が低い場合、がん発見率や陽性反応適中度が低くなる。

(4) 陽性反応適中度：要精検者のうち、がんが発見された者の割合

【計算式】

$$\text{陽性反応適中度}(\%) = \text{がんであった者の数} \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } ⑤ \div ③ \times 100$$

(解説)

- ・ 陽性反応適中度は、高いことが望ましい。
- ・ 検診実施機関においてがんを適切に発見できない場合や、市町において精検結果が把握されていない場合は低くなる。

(5) がん発見率：がん検診受診者のうち、がんが発見された者の割合

【計算式】

$$\text{がん発見率}(\%) = \text{がんであった者の数} \div \text{検診受診者数} \times 100 \quad \text{※図 } ⑤ \div ② \times 100$$

(解説)

- ・ がん発見率は高いことが望ましい。
- ・ がん発見率は有病率が低い集団が受診している場合や精検結果が把握されていない場合は低く、有病率が高い集団が受診している場合は高くなる傾向がある。

(6) (精検) 未把握率：精検結果や精検を受診したか否かが把握できない者の割合

【計算式】

$$\text{未把握率}(\%) = (\text{精検受診者の精検結果未把握者数} + \text{精検受診未把握者数}) \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } (⑥ + ⑦) \div ③ \times 100$$

(7) 精検未受診者率：要精検者が精検を受診しなかったことが判明している割合

【計算式】

$$\text{精検未受診者率}(\%) = \text{精検未受診者数} \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } ⑧ \div ③ \times 100$$

(8) 精検未受診・未把握率：要精検者で精検結果未把握者、精検受診未把握者、精検未受診者の割合

【計算式】

$$\text{精検未受診・未把握率}(\%) = (\text{精検結果未把握者数} + \text{精検受診未把握者数} + \text{精検未受診者数}) \div \text{要精検者数} \times 100 \quad \text{※図 } (⑥ + ⑦ + ⑧) \div ③ \times 100$$

※図

対象者①						
受診者②						未受診者
要精検者③						
精検受診者④			精検結果未 把握者⑥	精検受診未 把握者⑦	精検未受 診者⑧	
異常なし	がんであつ た者⑤	がん以外の 疾患であつ た者				

(国の指針により推奨されるがん検診)

厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成 20 年 3 月 31 日付け健発第 0331058 号厚生労働省健康局長通知別添)を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

【指針で定めるがん検診の内容】

種 類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50 歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については 40 歳以上に対し実施可	2 年に 1 回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年 1 回実施可
肺がん検診	質問 (問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40 歳以上	年 1 回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40 歳以上	年 1 回
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20 歳以上	2 年に 1 回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40 歳以上	2 年に 1 回

※統計表の符号は次のとおり。

調査対象外または該当なしの場合は「-」と表記。

※特に表記のない場合は、国の指針による検診方式及び対象者 (年齢) により集計している。

(別表)

平成 30(2018)年度がん検診対象者数

市町	胃がん (50歳以上)			肺・大腸がん (40歳以上)			子宮頸がん (20歳以上)	乳がん (40歳以上)
	男性	女性	計	男性	女性	計	女性	女性
宇都宮市	49,004	77,937	126,941	56,383	91,937	148,320	116,684	91,937
足利市	16,702	26,957	43,659	18,085	29,397	47,482	33,755	29,397
栃木市	18,709	28,918	47,627	20,108	31,927	52,035	37,195	31,927
佐野市	12,777	20,599	33,376	13,823	22,731	36,554	26,540	22,731
鹿沼市	10,668	16,731	27,399	11,586	18,487	30,073	21,590	18,487
日光市	10,187	15,790	25,977	10,897	16,984	27,881	19,040	16,984
小山市	15,855	24,741	40,596	17,731	28,505	46,236	35,638	28,505
真岡市	8,379	12,456	20,835	9,185	13,967	23,152	16,860	13,967
大田原市	8,941	12,427	21,368	10,134	13,645	23,779	16,737	13,645
矢板市	4,131	6,126	10,257	4,416	6,620	11,036	7,540	6,620
那須塩原市	11,863	17,579	29,442	13,042	19,761	32,803	23,743	19,761
さくら市	5,177	7,029	12,206	5,963	7,909	13,872	9,533	7,909
那須烏山市	3,897	5,612	9,509	4,150	5,978	10,128	6,614	5,978
下野市	5,793	9,018	14,811	6,205	10,213	16,418	12,558	10,213
上三川町	2,810	4,353	7,163	3,026	5,013	8,039	6,009	5,013
益子町	2,698	3,993	6,691	2,896	4,339	7,235	4,979	4,339
茂木町	2,073	2,978	5,051	2,169	3,112	5,281	3,354	3,112
市貝町	1,422	1,975	3,397	1,539	2,154	3,693	2,503	2,154
芳賀町	2,028	2,884	4,912	2,167	3,150	5,317	3,561	3,150
壬生町	4,306	6,547	10,853	4,655	7,194	11,849	8,634	7,194
野木町	2,920	4,490	7,410	3,102	4,902	8,004	5,795	4,902
塩谷町	1,585	2,388	3,973	1,676	2,526	4,202	2,772	2,526
高根沢町	2,942	4,566	7,508	3,219	5,160	8,379	6,288	5,160
那須町	3,849	5,345	9,194	4,167	5,694	9,861	6,257	5,694
那珂川町	2,644	3,581	6,225	2,783	3,795	6,578	4,182	3,795
計	211,360	325,020	536,380	233,107	365,100	598,207	438,361	365,100

(別表 2)

平成 30 (2018) 年度がん検診対象者数 (栃木県・参考値)

性別	年齢階級	対象者数				
		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
全住民 (男)	40-44	77,048	77,048	77,048		
	45-49	77,940	77,940	77,940		
	50-54	65,577	65,577	65,577		
	55-59	63,033	63,033	63,033		
	60-64	68,741	68,741	68,741		
	65-69	80,243	80,243	80,243		
	70-74	63,809	63,809	63,809		
	75-79	55,463	55,463	55,463		
	80 以上	52,012	52,012	52,012		
計	603,866	603,866	603,866			
国民健康保険 (再掲) の被保険者 (男)	40-44	14,529	14,529	14,529		
	45-49	15,565	15,565	15,565		
	50-54	13,564	13,564	13,564		
	55-59	13,851	13,851	13,851		
	60-64	24,402	24,402	24,402		
	65-69	51,404	51,404	51,404		
	70-74	46,798	46,798	46,798		
	75-79					
	80 以上					
計	180,113	180,113	180,113			
全住民 (女)	20-24				42,769	
	25-29				44,444	
	30-34				52,172	
	35-39				58,739	
	40-44	68,639	68,639	68,639	68,639	68,639
	45-49	69,225	69,225	69,225	69,225	69,225
	50-54	60,613	60,613	60,613	60,613	60,613
	55-59	59,267	59,267	59,267	59,267	59,267
	60-64	65,842	65,842	65,842	65,842	65,842
	65-69	78,975	78,975	78,975	78,975	78,975
	70-74	65,301	65,301	65,301	65,301	65,301
	75-79	62,147	62,147	62,147	62,147	62,147
	80 以上	96,490	96,490	96,490	96,490	96,490
	計	626,499	626,499	626,499	824,623	626,499
国民健康保険 (再掲) の被保険者 (女)	20-24				6,899	
	25-29				7,939	
	30-34				8,774	
	35-39				9,911	
	40-44	11,268	11,268	11,268	11,268	11,268
	45-49	12,859	12,859	12,859	12,859	12,859
	50-54	11,664	11,664	11,664	11,664	11,664
	55-59	13,975	13,975	13,975	13,975	13,975
	60-64	28,692	28,692	28,692	28,692	28,692
	65-69	53,404	53,404	53,404	53,404	53,404
	70-74	49,338	49,338	49,338	49,338	49,338
	75-79					
	80 以上					
	計	181,200	181,200	181,200	214,723	181,200

○従来の対象者数に加えて、「全住民」及び「国民健康保険被保険者」別に対象者数を算出。

Ⅱ がん検診の実施状況

1 がん検診の実施体制について

○県内全ての市町が、健康増進法に基づくがん検診を実施していた。

○胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん検診において、国の指針で示す対象年齢を外れてがん検診を実施している市町があった。〈表 2-1〉及び〈表 2-2〉

第1 一次検診（スクリーニング）関係

(1) がん検診の委託の状況、実施機関等

〈表 1-1〉 集団検診機関別委託市町数（平成 30(2018)年度）

	宇都宮健康クリニック	宇都宮東病院	宇都宮市医療保健事業団	栃木県保健衛生事業団
胃がん	6	6	1	17
肺がん	6	6	1	17
大腸がん	6	6	1	17
子宮頸がん	6	6	1	18
乳がん	6	6	1	18

〈表 1-2〉 個別検診委託市町数（平成 30(2018)年度）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
市町数	6	6	8	23	20

〈表 1-3〉 各市町におけるがん検診の実施期間、周知方法等（平成 30(2018)年度）

	開始 ～ 終了	広 報				個人通知		その他
		広 報 紙	市 町 H P	ラ ジ オ	テ レ ビ	持 参	郵 送	
宇都宮市	H30. 5～H31. 3	○	○	○	×	×	○	
足利市	H30. 6～H31. 2	○	○	×	○	×	○	
栃木市	H30. 4～H31. 3	○	○	○	○	×	○	
佐野市	H30. 6～H31. 2	○	○	×	○	○	×	
鹿沼市	H30. 4～H31. 2	○	○	×	○	×	○	がん検診推進事業で個別勧奨を実施
日光市	H30. 4～H31. 3	○	○	×	×	×	○	乳幼児健診・子育て相談・高齢者健康教室・食育教室等での受診勧奨や健診 PR 幼稚園・保育園・学童保育の保護者へ勧奨チラシを配布、回覧板での健診開催周知（一部地域のみ）
小山市	H30. 5～H31. 2	○	○	○	○	×	○	
真岡市	H30. 4～H31. 3	○	○	×	○	○	○	9 月がん検診強化月間におけるかかりつけ医からのリーフレット配布
大田原市	H30. 4～H31. 2	○	○	×	×	×	○	
矢板市	H30. 5～H30. 11	○	○	×	×	○	○	子宮がん検診無料クーポン券、21 歳、6 月、1 回 乳がん検診無料クーポン券、41 歳、7 月、1 回
那須塩原市	H30. 4～H31. 3	×	○	×	×	×	○	
さくら市	H30. 4～H31. 3	○	○	×	×	×	○	
那須烏山市	H30. 5～H30. 12	○	○	×	×	×	○	
下野市	H30. 6～H31. 2	○	○	×	×	×	○	
上三川町	H30. 7～H31. 1	○	○	×	×	×	○	町民向けメールにて健診全般の受診勧奨を実施
益子町	H30. 5～H30. 12	○	○	×	×	×	○	
茂木町	H30. 5～H30. 12	○	○	×	○	×	○	
市貝町	H30. 5～H30. 11	○	○	×	×	×	○	
芳賀町	H30. 6～H31. 1	○	○	×	○	×	○	
壬生町	H30. 5～H30. 11	○	○	×	×	×	○	
野木町	H30. 6～H31. 1	○	○	×	×	×	○	
塩谷町	H30. 6～H30. 12	○	○	×	×	×	○	
高根沢町	H30. 6～H31. 1	○	○	×	×	×	○	
那須町	H30. 5～H31. 2	○	○	×	×	×	○	
那珂川町	H30. 6～H30. 12	○	○	×	×	×	○	
計(市町数)		24	25	3	8	3	24	

○24 市町で広報紙、全市町でホームページによる周知を実施している。

(2) がん検診の対象者、検査方法等

〈表 2-1〉 国の指針で示す対象年齢を外れてがん検診を実施している市町数

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
栃木県 (割合)	平成 29(2017)年度 (n=25)	10 (40.0%)	6 (24.0%)	6 (24.0%)	0 (0.0%)	25 (100%)
	平成 30(2018)年度 (n=25)	25 (100%)	5 (20.0%)	5 (20.0%)	1 (4.0%)	24 (96.0%)
全国 (割合)	平成 29(2017)年度 (n=1,737)	1,657 (95.4%)	357 (20.6%)	421 (24.2%)	60 (3.5%)	689 (39.7%)

〈表 2-2〉 各市町における対象年齢の状況 (全方式)

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
国指針	50歳以上(胃部 エックス線検査は 40歳以上の者も 可)	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上
宇都宮市					30歳以上
足利市					30歳以上
栃木市					30歳以上
佐野市					30歳以上
鹿沼市					30歳以上
日光市					30歳以上
小山市	35歳のみ	35歳のみ	35歳のみ		30歳以上
真岡市					30歳以上
大田原市	20歳のみ	男性のみ 35歳以上			30歳以上
矢板市					30歳以上
那須塩原市					30歳以上
さくら市	30歳以上	30歳以上	30歳以上		30歳以上
那須烏山市					30歳以上
下野市					35歳以上
上三川町	20歳以上	20歳以上	20歳以上		30歳以上
益子町	30歳以上				30歳以上
茂木町	19歳以上				30歳以上
市貝町					30歳以上
芳賀町	19歳以上				30歳以上
壬生町					30歳以上
野木町	30歳以上	30歳以上	30歳以上		30歳以上
塩谷町	30歳以上		30歳以上		35歳以上
高根沢町					30歳以上
那須町					30歳以上
那珂川町	20歳以上	20歳以上	20歳以上		20歳以上
計	10	6	6	0	25

○乳がん検診は全市町において対象年齢を引き下げて実施している。

○子宮頸がん検診の対象年齢を引き下げて実施している市町はない。

〈表 2-3〉 県内市町における各がん検診（指針方式）の実施状況

	検査方法	栃木県 (n=25)
胃がん	胃部X線検査	25 市町
	胃内視鏡検査	3 市町(宇都宮市・下野市・上三川町) ※うち 2市町(宇都宮市・上三川町)においては、対象年齢全員 ※うち 1市(下野市)においては、特定の消化器疾患のある 40 歳以上の者に実施
肺がん	X線(+喀痰細胞診)	25 市町 ※うち2市町(鹿沼市・芳賀町)においては、CT検査を選択的に実施
大腸がん	便潜血	25 市町
子宮頸がん	視診・細胞診・内診	25 市町 ※うち13市町(足利市・佐野市・小山市・大田原市・那須塩原市・さくら市・那須烏山市・下野市・茂木町・芳賀町・野木町・高根沢町・那須町)においては、細胞診・HPV検査を併用して実施 ※うち10市(足利市・栃木市・鹿沼市・日光市・矢板市・那須塩原市・那須烏山市・塩谷町・那須町・那珂川町)においては、細胞診判定に応じHPV検査を追加実施
乳がん	マンモグラフィ	25 市町 ※全ての市町において、マンモグラフィと超音波検査又は視触診を併用して実施

〈表 2-4〉 各市町におけるがん検診の自己負担及び土日祝日・早朝・夜間の実施状況

- ・ 個人負担の有無 (A : なし、B : 検査によっては個人負担あり、C : 個人負担あり、空欄 : 未実施)
- ・ 個人負担が総費用の 3 割以内 (○ : 全ての検査に該当、△ : 検査によっては該当、× : 全ての検査が非該当)
- ・ 日時 (○→実施、×→未実施)

	集団検診										個別検診										日時		
	胃		肺		大腸		子宮頸		乳		胃		肺		大腸		子宮頸		乳		土日祝日	夜間	早朝
	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内	個人負担	3割以内			
宇都宮市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	○	×	○
足利市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	○	×	○
栃木市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	×
佐野市	C	○	C	○	C	○	B	○	C	○			C	○	C	○	B	○	C	○	○	×	○
鹿沼市	B	△	B	△	A		C	○	C	○							C	○	A		○	×	○
日光市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○					C	○	C	○	○	○	○
小山市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	○	×
真岡市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	×	×
大田原市	A		A		A		A		A								C	○	C	○	○	×	×
矢板市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	×
那須塩原市	C	△	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○			C	○	C	○	C	○	○	×	×
さくら市	B	○	A		C	○	C	○	C	○							C	○	A		○	×	○
那須烏山市	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	○	×
下野市	B	○	A		A		C	○	A		C	○	A		A		C	○	A		○	×	×
上三川町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○			○	×	×
益子町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○											○	×	×
茂木町	B	×	A		A		B	○	C	○							C	○			○	×	×
市貝町	B	○	A		A		A		A												○	×	×
芳賀町	C	○	B	○	C	○	C	○	C	○	C	×	C	×	C	×	C	×	C	×	○	×	×
壬生町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○			○	×	×
野木町	C	○	B	○	A		C	○	C	○	C	○			A		C	○	C	○	○	×	×
塩谷町	C	○	A		C	○	C	○	B	○											○	×	×
高根沢町	C	○	C	○	C	○	B	○	C	○											○	×	×
那須町	C	○	C	○	C	○	C	○	C	○							C	○	C	○	○	×	×
那珂川町	C	△	C	○	C	○	C	○	C	○							A		A		○	×	○

○全市町において、土日祝日に検診が実施されている。

(3) 各がん検診の同時実施回数等

【男性】(※種類については、胃がん、肺がん、大腸がんの3種類)

	1種類の検診のみ (機関)		2種類の検診 同時実施(機関)		3種類の検診 同時実施(機関)		計		特定健診との 同時実施(機関)	
	集団 (回)	個別 (機 関)	集団 (回)	個別 (機 関)	集団 (回)	個別 (機 関)	集団 (回)	個別 (機 関)	集団 (回)	個別 (機 関)
宇都宮市		21	3	94	420	45	423	160	423	194
足利市		33	22	16	9	7	31	56	15	58
栃木市			3		69		72		72	
佐野市		6		48	94		94	54	91	50
鹿沼市	2				59		61		22	
日光市			2		84		86		86	
小山市			2		58		60		60	
真岡市					75		75		75	
大田原市					66		66		66	
矢板市	3				34		37		34	
那須塩原市		36			70		70	36	70	30
さくら市					27		27		27	
那須烏山市					25		25		25	
下野市				2	38	21	38	23	38	22
上三川町				3	22	9	22	12	22	12
益子町					28		28		28	
茂木町			4		18		22		18	
市貝町					17		17		17	
芳賀町					18	1	18	1	18	
壬生町					20		20		20	
野木町		1		6	24	1	24	8	24	4
塩谷町		5			14		14	5	14	
高根沢町					11		11		11	
那須町					41		41		41	
那珂川町					16		16		16	
計(市町数)	2	6	6	6	25	6	25	9	25	7

○全市町の集団検診において、3種類の検診が同時に実施されている。

○全市町において、集団検診と特定健診が同時に実施されている。

【女性】（※種類については、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5種類）

	1種類の検診のみ（機関）		2種類の検診同時実施（機関）		3種類の検診同時実施（機関）		4種類の検診同時実施（機関）		5種類の検診同時実施（機関）		計		特定健診との同時実施（機関）	
	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）	集団（回）	個別（機関）
宇都宮市	96	29	11	100	502	64	3	30	90	6	702	229	423	196
足利市		29	31	15		11		5	27	1	58	61	33	60
栃木市							3		98		101		101	
佐野市		5		36	7	9	30	4	85		122	54	118	50
鹿沼市	2	4			59				56		117	4	25	
日光市		4					2		84		86	4	86	2
小山市		19	2	2	61		17		33		113	21	105	15
真岡市		14	32	1	75						107	15	75	
大田原市		7		2	7				73		80	9	80	2
矢板市		5		2	12				22		34	7	34	
那須塩原市		40	6			2			106		112	42	106	31
さくら市		8							27		27	8	27	
那須烏山市		8			18		1		10		29	8	28	
下野市				2		21			38	2	38	25	38	22
上三川町		25		3		9			28		28	37	28	12
益子町									28		28		28	
茂木町		3	4				7		11		22	3	18	
市貝町									17		17		17	
芳賀町		3							19	1	19	4	19	
壬生町		2							28		28	2	28	
野木町		15		1			12		12		24	16	24	4
塩谷町		12	6		13				1		20	12	14	
高根沢町									20		20		20	
那須町		4		2	8				39		47	6	46	
那珂川町		5			13		1		13		27	5	27	
計（市町数）	2	20	7	11	11	6	9	3	24	4	25	21	25	10

○24市町の集団検診において、5種類の検診が同時に実施されている。

○全市町において、集団検診と特定健診が同時に実施されている。

(4) がん検診を受診しやすいよう工夫している点

〈表 4-1〉各市町において工夫している点

宇都宮市	土日健診、出前健診、託児付健診の実施
足利市	乳幼児健診来所者で希望者に女性のがん検診の受診券送付 スーパー等の生理用品コーナーに女性のがん検診の案内設置
栃木市	早朝検診の実施、土日検診の実施、女性のみ（年間30回）、男性のみ（年間1回）の検診日を設定 集団検診全ての回において、特定健診と同時実施（102回）、H27よりWeb予約を導入 健診案内の「けんしんガイドブック」及び受診券等を一冊にまとめた「けんしんパスポート」を20歳以上の全市民に送付
佐野市	受診券を一冊にまとめ個別通知（健診スタートブック）を対象者に郵送 早朝検診（午前7時～）の実施、土日祝の検診日の設定、女性のみを検診日を設定
鹿沼市	土日の検診を31回実施、女性が受診しやすいレディース健診を5回実施、託児つきの検診を4回実施 特定健診との同時実施を25回実施、歯科検診や骨粗しょう症検診、40歳未満の健康診査との同時実施等
日光市	女性のみ健診日を20日間、託児ができる健診日を27日間、健診会場数を多く設定
小山市	土日の検診日、午後・夜間での検診日を設置
真岡市	仕事で不定期休暇の場合は早めに問診票を送付して休みが取れた時に来てもらう等、予約制の弾力的運用
大田原市	土日健診、女性のみ健診日、乳がん子宮がん検診の実施をしない健診日の設定
矢板市	婦人科検診時の託児（3回）、土日曜日の検診実施、混雑状況等を市ホームページや市広報等に掲載
那須塩原市	早朝検診を実施、日曜日検診を実施、女性だけの検診日を設定、検診会場として各地区の公民館で実施 歯科衛生士のお口の相談コーナー、食生活改善推進員の減塩普及コーナーを設置
さくら市	全ての項目受診可能、がん検診項目により無料化、早朝健診の実施
那須烏山市	特定健診と同時実施、女性の日を4日設定、土日の検診日を4日設定、夜間検診の実施（婦人検診のみ）
下野市	土日実施、託児の実施、追加検診の実施
上三川町	「健康診査のご案内」を作成し、対象の全世帯に送付 集団健診を町内4会場で実施
益子町	ヤングミニ健診の受け入れを健診全日程（28日間）に拡大
茂木町	土・日曜日に各1日ずつ全地区対象の検診日を設定 後期高齢者検診日（4日間）に大腸がん検診の他、肺がん検診を追加
市貝町	健診申し込み書の回収方法を、衛生推進委員による回収から、個人返送に変更
芳賀町	土日検診日の設定、女性限定の日を設定 WEB予約システム導入による24時間申込み
壬生町	町内5施設にて検診実施、土日健診の実施、女性のみ健診日の設定、託児ができる検診日を実施
野木町	WEB予約、託児2回実施、女性限定健診を4回実施、体育センターでの検診を1回実施
塩谷町	検診料金を1項目500円ワンコイン検診とした 電話及びネット申込みに変更し、検診対象者全員に個別通知をした
高根沢町	女性の日、男性の日、日曜健診の実施
那須町	総合健診日を多く設ける、女性の日を設定（女性の日は託児を設ける） 30歳に子宮頸がん検診の無料クーポンを配布
那珂川町	土日及び女性のみレディース健診実施 交通手段のない山間部地区へ近隣施設を活用した健診実施 同日に男女ともがん検診全項目が受診できる日程設定 午後開催の健診実施、早朝の受付開始、毎月広報掲載

〈表 4-2〉 前年度と比較して工夫した点

宇都宮市	健診会場数および実施回数の拡充
足利市	女性のがん検診は希望者数に応じ実施回数を増加
栃木市	胃がん検診以外の全ての項目（特定健診含む）を受診できる午後の日を設定
佐野市	検診会場を検討し、新たな会場2か所で実施 特定健診自己負担の無料化
鹿沼市	レディース検診を3回から5回に増加 若い人が受診しやすいよう、40歳未満の健康診査と子宮・乳がん検診を同時実施
日光	人数に応じて受付時間を調整、女性のみ健診日や託児日数の増加
小山市	20歳以上の女性に発送している検診通知や健康増進事業関連冊子の内容を見直し 12月に行う子宮頸がん検診の勧奨対象者を拡充
真岡市	医師会連携による、かかりつけ医での特定健診対象者への特定健診・がん検診パンフレット手渡し配布
大田原市	乳がん、子宮がん検診の実施をしない健診日を設定し、受診者の希望に沿った検診実施
矢板市	インターネット予約、対象者全員への個人通知、婦人科検診同時実施回数の増
さくら市	毎年同時期に受診できる日程を設定 健診日程表を見やすく工夫し、封筒にも必要事項印字
那須烏山市	土日検診日の回数増加
下野市	胃がん検診の受診勧奨の実施
上三川町	再勧奨はがきの文章や構図を改良、町民向けメールにて勧奨
益子町	とくなく AI により受診勧奨
茂木町	受付時間を地区ごとに設定し、待ち時間を減少 レディースデー検診日を2回から3回に増加 子宮頸がん検診の個別医療機関を2か所から3か所に増加
芳賀町	女性限定の日に、特定健診や健康診査も受診できるよう環境整備
壬生町	健診会場の駐車場整理スタッフの拡充 予約人数が多いときは定員まで余裕がある日程を提案し、受診人数が多くなりすぎないように改善 託児スタッフに早めに集合してもらい託児利用者が利用しやすいよう改善
野木町	女性限定健診3回から4回に増加するとともに、4日とも全項目実施
塩谷町	対象者全員に個人通知 総合検診のできる日を日曜日に設定
那珂川町	午後実施の検診項目増加 健診申込み済の方で、未受診の方に個別勧奨ハガキを通知

(5) 個別受診勧奨と再勧奨の実施状況

〈表 5-1〉 個別受診勧奨の実施状況

	対象者			実施時期	実施方法		
	全員	無料クーポン配布者	対象者を絞って		電話	郵送	訪問
宇都宮市	○			11月		○	
足利市			○	6月		○	
栃木市	○			5月下旬		○	
佐野市	○			5月下旬		○	
鹿沼市	○			4月		○	
日光市	○			平成30(2018)年12月		○	
小山市			○	4月初め		○	
真岡市			○	4月		○	
大田原市	○			申込書発送時から随時		○	
矢板市		○		6月末		○	
那須塩原市	○			前年度1月		○	
さくら市		○		4月～12月		○	
那須烏山市	○			平成31(2019)年3月		○	
下野市	○			6月		○	
上三川町	○			4月下旬、6月下旬		○	
益子町		○	○	4～5月		○	
茂木町		○	○	5月、10月		○	
市貝町	○			1月～2月		○	
芳賀町	○			5月		○	
壬生町			○	4月、6月		○	
野木町	○			5月		○	
塩谷町	○			4月		○	
高根沢町		○		随時 (受診状況にあわせて)		○	
那須町		○		6月		○	
那珂川町		○	○	5月、6月		○	
計 (市町数)	14	7	7		0	25	0

- 14市町において、全員に対して個別受診勧奨を実施している。
- 7市町において、無料クーポン配布者に対し個別受診勧奨を実施している。
- 全市町において、郵送による個別受診勧奨を行っている。

〈表 5-2〉再勧奨の実施状況

	対象者			実 施					未 実 施	
	未受診 者全員	無料クーポン 配布者のうち 未受診者	対象者を 絞って	実施数・時期		実施方法				
				回数	時期	電 話	郵 送	訪 問		
宇都宮市			○	1	11月		○			
足利市			○	1	12月		○			
栃木市		○		1	11月上旬		○			
佐野市		○		1	11月下旬から12月上旬		○			
鹿沼市			○	8	5月～11月		○			
日光市			○	3	8月・10月・11月		○			
小山市			○	1	12月初め		○			
真岡市			○	7	8～11月、1月		○			
大田原市			○	7	6月、7月、8月、9月、10月		○			
矢板市									○	
那須塩原市		○	○	2	9月 ①クーポン券対象者 ②20歳代子宮頸がん検診未受診者		○			
さくら市									○	
那須烏山市			○	1	8月		○			
下野市		○	○				○			
上三川町		○		3	8月、10月（乳がん検診対象者） 10月（子宮頸がん検診対象者）		○			
益子町		○		2	8月、10月		○			
茂木町		○		1	10月		○			
市貝町									○	
芳賀町									○	
壬生町			○	1	8,9月		○			
野木町			○	1	10月頃		○			
塩谷町			○	1	10月		○			
高根沢町		○		2	健診中間・後半の状況のみて実施		○			
那須町									○	
那珂川町			○	1	10月		○			
計 (市町数)	0	8	14	19			0	20	0	5

○20市町において、郵送による再勧奨を行っている。

第2 二次検診（精検）関係

（1）精検未把握者対策として、受診の有無や精検結果の正確な把握のために工夫している点

宇都宮市	未把握者への個別通知による確認 個別健診においては、一次医療機関にも照会
足利市	要精検者のうち、受診後3～4か月を経過しても結果連絡票が医療機関から送付されない者に対して追跡調査を実施 検診結果が市に報告できるよう返信用封筒を入れて送付
栃木市	受診後6か月後を目安に郵送にて1回受診勧奨を実施
佐野市	受診後半年を目安に、精検結果連絡票が戻ってこない者に対して、受診勧奨通知を送付
鹿沼市	検診受診の半年後、精密検査を受診していれば受診日・医療機関・検査方法・結果を記入頂き返信用封筒で返却 医療機関から返却があった精密検査の結果連絡票のうち受診日・医療機関・検査方法・結果のうちどれか1つが無記入の場合、問い合わせをし確認
日光市	未把握者への電話確認 市外の精検機関の結果報告経路の整備
小山市	未把握者に対して、検診受診から4か月後に勧奨文書を通知 その後も確認できない方には電話勧奨を実施
大田原市	状況に応じて電話による状況確認
矢板市	未把握者や精検機関への電話確認
那須塩原市	未把握者への通知発送、精検機関の内受診者数が多い医療機関への実施状況報告依頼通知発送
さくら市	未把握者への電話確認
那須烏山市	精検結果が正確に分からない者への電話確認
下野市	精密検査結果連絡票を使用して市が連絡
上三川町	精検結果が戻ってこない対象者に対して、受診勧奨通知を送付
益子町	健診受診から半年後、個別通知による精密検査未受診者の受診勧奨及び受診状況の把握
茂木町	未把握者への電話確認
市貝町	未受診者に対し、通知文を送付し、状況確認
芳賀町	未把握者への電話確認
壬生町	精密検査紹介状送付1～2か月後、結果未把握者に受診勧奨通知を送付 また、その中で受診済者には、役場に電話頂き結果を確認
野木町	精密検査受診状況確認票を郵送
塩谷町	検診受診後4か月と6か月に郵送で精検勧奨
高根沢町	未把握者への電話確認、はがきにて確認依頼（返信をしてもらう）
那珂川町	未把握者への電話確認、未受診者と未把握者に分けてデータ管理

(2) 二次検診（精検）未受診者勧奨の実施状況（平成30(2018)年度）

	個人通知			
	持参	郵送	実施状況（持参・説明、郵送） （勧奨時期・回数等）	電話 実施状況（電話） （勧奨時期・回数等）
宇都宮市	×	○	半年～1年後に、郵送による個別通知	×
足利市	×	○	要精検者のうち受診後3～4か月を経過しても結果連絡票が医療機関から送付されない者に対して追跡調査を実施	×
栃木市	×	○	一次検診の6か月後を目安に1回受診勧奨を実施	×
佐野市	×	○	一次健診受診後、6か月を目安に個別通知（郵送）による受診勧奨	×
鹿沼市	×	○	2回/年（9月・2月）郵送による受診勧奨を実施	×
日光市	×	○	結果返却後、3か月を経過しても医療機関から連絡票の返信が無い方に対して実施	○
小山市	×	○	勧奨時期：検診受診より4か月後 回数：1回	○
真岡市	×	○	がん検診受診4・6か月後（大腸がんのみ2・4・6か月後）に封書による受診勧奨	×
大田原市	×	○	健診受診月を除く5か月後の精密検査未受診者に、ハガキによる受診勧奨	○
矢板市	×	○	検診受診4か月後、6か月後において精検未受診者に対して、最大年2回	○
那須塩原市	×	○	精密検査連絡票が届いていない人に対し、受診勧奨（12月、3月の2回）	×
さくら市	×	○	年度内に封書にて勧奨	×
那須烏山市	×	○	年2回勧奨（検診日より4・6か月後に受診の有無を調査）	×
下野市	×	○	検診実施6か月後、郵送にて1回受診勧奨	×
上三川町	○	○	集団健診結果説明会において、がん精密検査受診の必要性を発信 精検結果が戻ってこない対象者に受診勧奨通知を送付	×
益子町	○	○	健診結果説明会参加時対面にて説明実施 年度内に1回受診勧奨通知送付	×
茂木町	○	×	結果説明会時に対面にて精検受診の必要性を説明	○
市貝町	×	○	9月、3月、年2回、受診勧奨通知を送付	×
芳賀町	×	×		○
壬生町	×	○	精密検査紹介状送付後1-2か月経過しても結果未把握者に受診勧奨通知を送付	×
野木町	×	○	受診結果が郵送されてから5か月後に本人宛に精密検査受診状況確認票の送付	×
塩谷町	×	○	検診受診後4か月と6か月に郵送で精検勧奨	○
高根沢町	×	○	受診の有無について確認通知	○
那須町	×	○	9月と12月に精検連絡票が届いていない方に受診状況連絡票を送付し返送	×
那珂川町	×	○	健診日から4か月後、精密検査結果連絡票により、受診の有無を確認できない方へ勧奨ハガキを郵送	○
計 (市町数)	3	23		9

○23市町において、郵送による受診勧奨を実施している。

○9市町において、郵送による受診勧奨後の未受診者に対し、電話による勧奨を実施している。

(3) 二次検査（精検）を受診しやすいよう工夫している点（平成30(2018)年度）

〈表3-1〉各市町において工夫している点

宇都宮市	個別に通知
足利市	子宮頸がん検診において要精密検査者に対して受診勧奨を実施 未受診者の情報提供を足利市医師会産婦人科部会に協力依頼
栃木市	紹介状に精密検査登録医療機関一覧を添付（市内だけでなく、近隣市町の医療機関も掲載） 検診結果通知に、精密検査の必要性を説明したチラシを同封 精密検査未受診者への受診勧奨通知に返信期限を設定
佐野市	近隣のがん検診精密検査登録医療機関一覧を同封
鹿沼市	1次結果に精密検査医療機関の案内の同封
日光市	・医療機関の紹介や、結果説明会での受診の必要性を説明
小山市	子宮頸がん・乳がん検診については、市内に精密検査を実施できる医療機関が少ないため、近隣市町の医療機関まで掲載した添書を紹介状に同封し、郵送
真岡市	精検実施医療機関の情報提供、返信用封筒同封、複数回勧奨
大田原市	健診結果説明会で各がんの登録医療機関の紹介
矢板市	個別通知に、受診状況のアンケートと受診の必要性の説明文を掲載
那須塩原市	検診実施日を計112回、集団検診会場を市内9か所で4月～11月、個別医療機関44か所で4月～3月まで 随時受診
さくら市	精密検査医療機関登録者名簿を紹介状に添付
那須烏山市	個別に2回通知することで、受診することの忘失を防止
下野市	受診勧奨用パンフレットの文字を拡大
上三川町	集団健診の結果説明会の講話において、精検受診の必要性を説明
益子町	医療機関の紹介、結果説明会時に受診の必要性について説明及び受診勧奨
茂木町	結果説明会時に、精密検査医療機関登録名簿と共に、郡内の精検可能な医療機関を追加した一覧で案内
市貝町	状況把握のために、電話をもらうようにし、未受診の場合には再度受診勧奨
芳賀町	結果送付時に精密検査受診を促す添書を同封
壬生町	受診すべき病院や診療科がわかるように紹介状に関連書類を添付 精密検査受診の大切さが示されたパンフレットも同封
野木町	わかりやすい封筒の色
塩谷町	要精検者に対しては、面接にて結果の説明 精検者には、専用封筒に結果を入れて対象者に配布
高根沢町	精検医療機関案内等の配布（県作成のもの）
那珂川町	必ず対象者に精検未受診であることを伝えるため、ハガキと電話の2つの方法で受診勧奨を実施

〈表 3-2〉 前年度と比較して工夫した点

宇都宮市	個別に通知
足利市	子宮頸がん検診において要精密検査者に対して受診勧奨を実施
佐野市	通知を目に留まるように色紙を使用する、文字を少なく簡潔な文書を心掛けた
鹿沼市	未受診者に検診受診の半年後、精密検査を受診していれば受診日・医療機関・検査方法・結果、未受診であれば受けられない理由を記入して頂き返信用封筒で返却（未受診の方の状況把握）
日光市	精検受診勧奨リーフレットを同封
小山市	要精密検査となった方の結果通知にチラシを同封
真岡市	特定健診・がん検診時の受診者への女性がん勧奨資材（野菜の種）配布 女性がん未受診者勧奨の回数増加
大田原市	対象者への複数回の督促、受診対象者への勧奨文章を考慮
矢板市	今年度から大腸がん検診で要精検となった者に対して、市で作成した資料を添付
さくら市	郵送時期を何回かに分け、タイムリーに勧奨
上三川町	集団健診の要精検者に対し、精密検査の受診を促す勧奨文を同封
益子町	とくなく AI、未受診者への電話での当日受診勧奨、未受診者への郵送での再通知、新規対象者への個別通知
壬生町	毎月未受診者勧奨 1次検診実施機関から毎月報告される精検受診状況把握後期間をあげずに勧奨
野木町	精密検査受診状況確認票の郵送時期を変更
塩谷町	未受診者に精検勧奨通知を出しているが、黄色等の目立つ色の封筒を使用
高根沢町	電話確認の回数増加
那珂川町	1回の勧奨だけでなく、時間帯を変えて電話勧奨を実施

2 平成30(2018)年度がん検診の受診率について

〈表1〉平成30(2018)年度がん検診受診率

(単位：%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
栃木県	平成28(2016)年度	21.2	27.9	28.5	32.4	33.6
		31.5	33.5	35.9	49.5	55.9
	平成29(2017)年度	21.5	28.5	28.7	30.1	34.2
		30.3	32.5	34.5	45.5	55.9
	平成30(2018)年度	21.2	28.6	28.7	31.1	34.4
		28.5	31.1	33.1	45.9	54.7
参考値	平成30(2018)年度 対象者：国民健康保険被保険者	37.0	47.4	47.5	63.6	63.3
		30.2	33.5	35.6	69.1	66.7
	平成30(2018)年度 対象者：全住民	12.1	13.9	13.9	16.6	18.3
		11.7	10.6	11.3	19.0	21.8
全国	平成29(2017)年度 対象者：全住民	<u>8.3</u>	<u>10.3</u>	<u>11.0</u>	<u>13.5</u>	<u>13.8</u>
		9.2	7.8	8.8	13.7	13.8

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)

注1) 各年度の下段は、40歳から69歳まで(ただし、胃がん(平成28(2016)年度以降)は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで)を対象

注2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

注3) 全国値のがん検診対象者は、各がん検診の対象年齢の「全住民」

注4) 全国値の受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値

(参考) 本県の乳がん検診(指針年齢かつ指針方式)での受診率について

「がん検診実施のための指針」に基づく平成30(2018)年度受診率・・・31.4%

〈表2〉男女別がん検診受診率

(単位：%)

栃木県	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん	乳がん (全方式)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性
平成28(2016)年度	24.1	19.4	29.0	27.2	29.2	28.1	32.4	33.6
平成29(2017)年度	24.4	19.6	29.6	27.8	29.5	28.3	30.1	34.2
平成30(2018)年度	24.2	19.2	29.7	28.0	29.3	28.3	31.1	34.4

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

〈表 3〉平成 30(2018)年度年齢階級別がん検診受診率

(単位：%)

栃木県	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん(全方式)
20-24 歳				16.6	
25-29 歳				39.5	
30-34 歳				55.6	
35-39 歳				58.5	
40-44 歳		28.2	30.2	68.8	78.3
45-49 歳		31.6	34.9	74.4	80.1
50-54 歳	33.7	31.0	35.3	65.1	71.5
55-59 歳	31.0	29.8	34.1	49.1	56.9
60-64 歳	25.2	27.5	29.5	34.3	42.4
65-69 歳	28.4	34.8	35.0	30.2	39.6
70-74 歳	27.5	38.4	37.1	25.6	33.0
75-79 歳	20.7	32.5	31.0	14.3	19.7
80 歳以上	5.9	15.3	13.2	3.1	4.4

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：受診率が一番高い年齢階級

〈表 4〉平成 30(2018)年度市町別がん検診受診率

(単位：%)

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん(全方式)	
上三川町	37.0	上三川町	52.1	下野市	51.0	市貝町	49.1	日光市	65.3
市貝町	33.6	下野市	50.4	上三川町	46.4	大田原市	48.7	市貝町	60.2
日光市	32.8	市貝町	46.4	市貝町	45.3	上三川町	46.1	大田原市	59.5
那須塩原市	29.7	芳賀町	46.2	大田原市	44.5	那須塩原市	44.3	那須塩原市	53.1
那須町	28.6	大田原市	44.7	茂木町	41.8	さくら市	41.5	上三川町	52.2
大田原市	28.0	真岡市	42.1	真岡市	40.8	真岡市	39.8	芳賀町	47.6
真岡市	27.4	塩谷町	40.8	芳賀町	40.2	矢板市	39.3	益子町	46.3
さくら市	27.1	益子町	38.3	益子町	39.7	那珂川町	37.2	那珂川町	46.3
茂木町	24.9	さくら市	37.0	那須塩原市	36.9	益子町	34.8	下野市	46.1
芳賀町	24.9	茂木町	36.9	日光市	36.4	日光市	32.2	さくら市	45.9
宇都宮市	24.6	那須塩原市	35.7	那須町	35.2	下野市	31.9	矢板市	44.1
益子町	23.3	日光市	35.5	那珂川町	34.1	鹿沼市	31.8	真岡市	41.2
矢板市	22.5	那須町	35.3	さくら市	32.5	塩谷町	30.4	那須町	41.0
下野市	22.1	那珂川町	34.5	矢板市	32.3	芳賀町	29.6	野木町	40.4
那珂川町	21.8	矢板市	33.0	野木町	30.1	宇都宮市	29.3	塩谷町	39.5
野木町	21.0	宇都宮市	30.0	宇都宮市	27.4	壬生町	29.0	壬生町	37.5
壬生町	19.7	佐野市	24.3	塩谷町	26.3	栃木市	28.4	小山市	35.1
塩谷町	19.1	壬生町	23.7	壬生町	26.0	那須町	28.4	鹿沼市	33.7
小山市	16.2	野木町	22.2	佐野市	23.5	佐野市	27.0	高根沢町	32.5
鹿沼市	15.6	那須烏山市	21.6	鹿沼市	21.2	野木町	26.8	足利市	31.8
高根沢町	15.3	栃木市	21.3	小山市	21.2	茂木町	25.8	茂木町	30.1
栃木市	15.0	高根沢町	21.2	高根沢町	20.6	足利市	24.1	栃木市	27.6
那須烏山市	15.0	小山市	20.1	栃木市	20.2	小山市	24.0	那須烏山市	25.9
佐野市	12.3	足利市	12.3	那須烏山市	19.4	高根沢町	22.8	佐野市	25.5
足利市	8.0	鹿沼市	11.5	足利市	17.5	那須烏山市	19.1	宇都宮市	18.8

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

3 平成30(2018)年度がん検診要精検の状況について

〈表1〉平成30(2018)年度がん検診要精検率

(単位：%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
栃木県	平成28(2016)年度	6.60	2.72	6.06	1.95	4.66
	平成29(2017)年度	6.03	2.06	5.92	2.00	4.36
	平成30(2018)年度	6.40	1.70	5.78	1.69	4.98
全国	平成28(2016)年度	7.42	1.60	6.19	2.13	6.84
	平成27(2015)年度	<u>7.25</u>	<u>1.51</u>	<u>6.52</u>	<u>2.18</u>	<u>7.99</u>
許容値		11.00 以下	3.00 以下	7.00 以下	1.40 以下	11.00 以下

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)、許容値「今後の我が国におけるがん検診評価の在り方について」(がん検診事業評価委員会報告書)

注1) 全国値は40歳から69歳まで(ただし、胃がん(平成28(2016)年度以降)は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで)を対象

注2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

注3) 許容値：胃がん；胃X線、肺がん；胸部X線と喀痰細胞診の併用、大腸がん；便潜血検査、子宮頸がん；細胞診、乳がん；視触診とマンモグラフィの併用で行った検査で、74歳までを対象

〈表2〉年齢階級別要精検率

(単位：%)

栃木県	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
20-24歳				4.88	
25-29歳				4.44	
30-34歳				3.72	3.74
35-39歳				3.13	3.95
40-44歳		0.40	3.84	2.44	7.64
45-49歳		0.67	3.76	2.13	6.72
50-54歳	3.81	0.78	4.04	1.66	6.32
55-59歳	5.39	0.93	4.10	0.81	4.37
60-64歳	6.59	1.30	4.58	0.64	4.46
65-69歳	7.08	1.61	5.34	0.71	3.90
70-74歳	7.18	1.99	5.76	0.56	3.79
75-79歳	6.66	2.15	7.26	0.58	3.51
80歳以上	4.67	2.84	9.92	0.70	3.04

注1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2) □：要精検率が一番高い年齢階級

〈表 3〉 検診機関別要精検率

(単位：%)

検診機関	宇都宮健康 クリニック	宇都宮 東病院	宇都宮市 医療保健 事業団	栃木県保健 衛生事業団	医療機関 個別委託分	許容値
胃がん	3.58	2.79	10.95	9.03	2.14	11.00 以下
肺がん	0.91	1.75	1.11	1.51	2.84	3.00 以下
大腸がん	4.66	5.31	6.48	5.02	7.97	7.00 以下
子宮頸がん	1.24	0.72	0.73	1.99	1.85	1.40 以下
乳がん (全方式)	6.42	4.18	6.21	3.86	6.09	11.00 以下

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

〈表 4-1〉 平成 30 (2018) 年度市町別要精検率

(単位：%)

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん (全方式)	
壬生町	2.67	さくら市	0.66	さくら市	3.96	壬生町	0.49	大田原市	2.92
市貝町	2.89	塩谷町	0.76	芳賀町	4.21	那須塩原市	0.58	芳賀町	3.14
さくら市	3.02	那須町	0.80	鹿沼市	4.48	上三川町	0.61	益子町	3.18
上三川町	3.18	上三川町	0.95	栃木市	4.53	高根沢町	0.65	野木町	3.27
高根沢町	3.88	那須塩原市	1.14	真岡市	4.57	市貝町	0.92	高根沢町	3.43
日光市	3.93	大田原市	1.18	壬生町	4.75	那須町	0.93	塩谷町	3.44
那須町	3.93	真岡市	1.28	那須塩原市	4.82	益子町	1.17	下野市	3.48
佐野市	4.20	市貝町	1.34	那須町	4.89	佐野市	1.20	栃木市	3.50
宇都宮市	4.48	芳賀町	1.42	小山市	5.01	さくら市	1.24	小山市	3.75
鹿沼市	6.62	矢板市	1.43	高根沢町	5.04	那須烏山市	1.27	市貝町	3.80
那須塩原市	7.34	益子町	1.44	大田原市	5.28	真岡市	1.38	足利市	3.95
那珂川町	8.11	宇都宮市	1.46	益子町	5.30	日光市	1.42	那珂川町	4.14
真岡市	8.23	小山市	1.49	塩谷町	5.42	矢板市	1.52	那須塩原市	4.31
下野市	8.25	日光市	1.57	那珂川町	5.49	宇都宮市	1.54	壬生町	4.46
益子町	8.36	那珂川町	1.59	矢板市	5.70	那珂川町	1.55	上三川町	4.72
栃木市	8.37	栃木市	1.63	市貝町	5.73	塩谷町	1.60	矢板市	4.73
那須烏山市	8.40	那須烏山市	1.78	茂木町	5.84	足利市	2.02	那須烏山市	4.87
塩谷町	8.91	茂木町	1.80	佐野市	5.86	栃木市	2.10	日光市	5.03
小山市	9.00	野木町	1.80	上三川町	5.95	大田原市	2.30	さくら市	5.44
大田原市	9.40	高根沢町	1.80	日光市	6.06	鹿沼市	2.35	茂木町	5.73
茂木町	9.42	鹿沼市	1.88	足利市	6.08	下野市	2.42	鹿沼市	6.39
足利市	9.83	壬生町	1.92	那須烏山市	6.10	野木町	2.62	宇都宮市	6.52
芳賀町	10.31	佐野市	2.27	下野市	6.25	芳賀町	3.08	那須町	8.27
矢板市	10.92	下野市	2.76	宇都宮市	7.37	小山市	3.25	佐野市	9.20
野木町	11.30	足利市	7.00	野木町	7.42	茂木町	5.53	真岡市	9.76

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：許容値を超えるもの

〈表 4-2〉平成 30(2018)年度市町別要精検率（集団検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
上三川町	2.59	さくら市	0.66	さくら市	3.96	壬生町	0.25	大田原市	2.80
壬生町	2.67	那須町	0.80	芳賀町	4.23	那須塩原市	0.29	芳賀町	3.16
市貝町	2.89	上三川町	0.88	鹿沼市	4.48	上三川町	0.48	益子町	3.18
さくら市	3.02	佐野市	0.95	上三川町	4.50	高根沢町	0.52	高根沢町	3.37
日光市	3.34	那須塩原市	1.14	栃木市	4.53	市貝町	0.92	野木町	3.40
高根沢町	3.88	大田原市	1.18	真岡市	4.57	佐野市	1.01	下野市	3.41
那須町	3.93	宇都宮市	1.21	佐野市	4.70	那須町	1.04	塩谷町	3.44
佐野市	4.20	下野市	1.24	壬生町	4.75	益子町	1.17	栃木市	3.47
鹿沼市	6.62	真岡市	1.28	下野市	4.77	宇都宮市	1.21	足利市	3.67
那須塩原市	7.34	塩谷町	1.29	那須町	4.89	塩谷町	1.29	市貝町	3.80
那珂川町	8.11	市貝町	1.34	小山市	5.01	那須烏山市	1.31	小山市	3.81
真岡市	8.23	芳賀町	1.42	那須塩原市	5.02	足利市	1.32	真岡市	3.94
益子町	8.36	矢板市	1.43	高根沢町	5.04	日光市	1.33	那珂川町	4.07
栃木市	8.37	益子町	1.44	大田原市	5.28	真岡市	1.38	那須塩原市	4.25
那須烏山市	8.40	小山市	1.49	益子町	5.30	矢板市	1.40	壬生町	4.46
下野市	8.43	日光市	1.53	塩谷町	5.42	那珂川町	1.55	那須烏山市	4.52
野木町	8.70	那珂川町	1.59	足利市	5.46	鹿沼市	1.72	上三川町	4.72
塩谷町	8.91	栃木市	1.63	那珂川町	5.49	さくら市	1.80	矢板市	4.73
小山市	9.00	那須烏山市	1.78	矢板市	5.70	栃木市	2.10	日光市	5.05
足利市	9.29	茂木町	1.80	日光市	5.70	野木町	2.15	さくら市	5.46
大田原市	9.40	野木町	1.80	市貝町	5.73	大田原市	2.33	茂木町	5.73
茂木町	9.42	高根沢町	1.80	茂木町	5.84	下野市	2.42	鹿沼市	6.38
芳賀町	10.34	鹿沼市	1.88	野木町	5.94	芳賀町	3.11	宇都宮市	6.52
宇都宮市	10.65	壬生町	1.92	那須烏山市	6.10	小山市	3.25	佐野市	8.05
矢板市	10.92	足利市	2.81	宇都宮市	6.30	茂木町	5.53	那須町	8.37

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) □：許容値を超えるもの

〈表 4-3〉平成 30(2018)年度市町別要精検率（個別検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
栃木市	—	栃木市	—	栃木市	—	栃木市	—	宇都宮市	—
佐野市	—	鹿沼市	—	鹿沼市	—	小山市	—	上三川町	—
鹿沼市	—	小山市	—	小山市	—	真岡市	—	益子町	—
小山市	—	真岡市	—	真岡市	—	さくら市	—	茂木町	—
真岡市	—	大田原市	—	大田原市	—	下野市	—	市貝町	—
大田原市	—	矢板市	—	矢板市	—	益子町	—	壬生町	—
矢板市	—	那須塩原市	—	さくら市	—	茂木町	—	塩谷町	—
那須塩原市	—	さくら市	—	那須烏山市	—	市貝町	—	矢板市	0.00
さくら市	—	那須烏山市	—	益子町	—	那須町	—	さくら市	0.00
那須烏山市	—	益子町	—	茂木町	—	那須烏山市	0.00	芳賀町	0.00
益子町	—	茂木町	—	市貝町	—	芳賀町	0.00	野木町	1.63
茂木町	—	市貝町	—	壬生町	—	那珂川町	0.00	小山市	3.60
市貝町	—	芳賀町	—	塩谷町	—	高根沢町	1.01	足利市	4.08
壬生町	—	壬生町	—	高根沢町	—	佐野市	1.43	日光市	4.31
塩谷町	—	野木町	—	那須町	—	那須塩原市	1.56	那須塩原市	4.95
高根沢町	—	高根沢町	—	那珂川町	—	上三川町	1.63	大田原市	6.70
那須町	—	那須町	—	那須塩原市	0.00	壬生町	1.70	那須町	6.80
那珂川町	—	那珂川町	—	芳賀町	0.00	宇都宮市	1.73	栃木市	7.69
下野市	0.00	塩谷町	0.00	足利市	6.31	矢板市	1.75	高根沢町	10.00
芳賀町	0.00	上三川町	1.08	佐野市	7.57	大田原市	1.82	那須烏山市	10.61
宇都宮市	1.29	宇都宮市	1.65	下野市	8.05	足利市	2.31	鹿沼市	12.50
上三川町	4.31	日光市	2.25	宇都宮市	8.30	日光市	2.46	佐野市	12.84
日光市	9.45	下野市	4.25	上三川町	10.30	塩谷町	2.62	真岡市	14.35
足利市	14.42	佐野市	4.29	日光市	12.13	鹿沼市	4.35	下野市	21.43
野木町	60.00	足利市	14.43	野木町	21.88	野木町	5.71	那珂川町	50.00

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) —：当該年度の受診者がいないもの、□：許容値を超えるもの

4 平成29(2017)年度がん検診精検の受診状況について

〈表1〉平成29(2017)年度がん検診精検受診率

(単位：%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
栃木県	平成28(2016)年度	79.9	81.7	69.7	83.8	88.4
	平成29(2017)年度	75.0	83.6	69.3	73.1	89.0
全国	平成28(2016)年度	80.4	78.3	69.5	75.4	87.6
	平成27(2015)年度	<u>80.4</u>	<u>83.1</u>	<u>68.8</u>	<u>74.3</u>	<u>87.2</u>
許容値		70以上	70以上	70以上	70以上	80以上
目標値		90以上	90以上	90以上	90以上	90以上

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」（厚生労働省）、許容値等「今後の我が国におけるがん検診評価の在り方について」（がん検診事業評価委員会報告書）

注1）全国値は40歳から69歳まで（ただし、胃がん（平成28(2016)年度以降）は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで）を対象

注2）乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象（全方式）、全国は指針方式で受診した者を対象

〈表2〉年齢階級別精検受診率

(単位：%)

栃木県	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (全方式)
20-24歳	—	—	—	73.4	—
25-29歳	—	—	—	75.0	—
30-34歳	—	—	—	74.3	—
35-39歳	—	—	—	86.0	—
40-44歳	—	84.4	64.8	67.9	90.0
45-49歳	—	82.8	60.2	72.5	87.5
50-54歳	65.8	81.2	65.0	62.8	85.8
55-59歳	68.6	85.3	65.0	65.8	89.0
60-64歳	71.9	83.3	72.9	71.2	90.6
65-69歳	75.2	83.4	70.2	75.4	88.1
70-74歳	79.2	86.6	74.4	72.7	92.0
75-79歳	76.7	85.5	74.6	77.8	91.2
80歳以上	76.6	79.4	61.0	69.2	86.4

注1）乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2）□：精検受診率が一番高い年齢階級

〈表 3-1〉平成 29(2017)年度市町別精検受診率

(単位：%)

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん(全方式)	
足利市	89.6	小山市	92.3	塩谷町	82.8	茂木町	100.0	那須烏山市	97.6
小山市	88.6	さくら市	90.9	足利市	78.1	下野市	94.4	塩谷町	95.8
市貝町	87.5	那珂川町	88.9	小山市	75.7	鹿沼市	92.1	鹿沼市	95.2
下野市	87.0	高根沢町	87.9	下野市	75.2	芳賀町	89.5	真岡市	94.8
鹿沼市	85.4	栃木市	87.5	壬生町	74.7	壬生町	88.9	壬生町	94.8
真岡市	83.9	下野市	87.4	那須烏山市	72.1	市貝町	87.5	佐野市	91.4
上三川町	81.1	宇都宮市	86.8	真岡市	72.0	真岡市	86.8	小山市	91.2
壬生町	80.6	足利市	86.3	さくら市	71.8	小山市	86.4	宇都宮市	91.1
栃木市	80.5	日光市	85.6	矢板市	71.7	那須町	85.7	益子町	91.1
那須烏山市	79.1	大田原市	85.6	宇都宮市	70.7	足利市	85.3	上三川町	90.9
茂木町	78.6	鹿沼市	84.8	日光市	69.1	佐野市	83.8	芳賀町	89.8
芳賀町	78.0	真岡市	84.8	鹿沼市	68.9	那須塩原市	83.0	日光市	89.7
大田原市	77.0	塩谷町	84.2	栃木市	67.8	野木町	81.5	市貝町	88.9
佐野市	76.6	野木町	80.8	大田原市	66.7	矢板市	79.6	那珂川町	88.0
那須塩原市	75.3	矢板市	78.0	市貝町	66.3	さくら市	77.6	高根沢町	87.1
塩谷町	74.5	那須烏山市	76.5	茂木町	66.1	大田原市	77.3	那須塩原市	87.0
那須町	72.6	市貝町	75.0	芳賀町	65.2	塩谷町	75.0	下野市	86.8
那珂川町	70.7	芳賀町	75.0	那須塩原市	64.4	益子町	70.8	足利市	84.6
日光市	67.7	那須塩原市	74.2	野木町	64.2	那珂川町	70.8	栃木市	84.4
さくら市	66.7	那須町	74.1	那珂川町	63.9	那須烏山市	66.7	矢板市	84.4
野木町	66.7	壬生町	73.0	益子町	61.9	上三川町	66.7	さくら市	83.5
高根沢町	65.2	上三川町	71.6	那須町	61.0	高根沢町	66.7	大田原市	82.2
益子町	62.6	益子町	71.0	高根沢町	60.4	日光市	65.0	野木町	81.8
宇都宮市	57.0	茂木町	71.0	上三川町	57.9	栃木市	64.5	那須町	78.4
矢板市	53.8	佐野市	70.0	佐野市	57.2	宇都宮市	51.1	茂木町	74.2

注1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2) □：許容値に達しないもの

〈表 3-2〉平成 29(2017)年度市町別精検受診率（集団検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
足利市	89.9	足利市	92.7	足利市	83.6	茂木町	100.0	那須烏山市	96.9
小山市	88.6	上三川町	92.3	塩谷町	82.8	壬生町	100.0	塩谷町	95.8
市貝町	87.5	小山市	92.3	小山市	75.7	佐野市	95.3	鹿沼市	95.1
下野市	87.0	さくら市	90.9	壬生町	74.7	下野市	94.4	壬生町	94.8
鹿沼市	85.4	那珂川町	88.9	下野市	74.0	那須町	92.3	真岡市	93.9
上三川町	84.8	日光市	88.2	宇都宮市	72.9	鹿沼市	90.7	小山市	92.5
真岡市	83.9	高根沢町	87.9	那須烏山市	72.1	芳賀町	88.9	佐野市	92.0
壬生町	80.6	栃木市	87.5	真岡市	72.0	市貝町	87.5	宇都宮市	91.3
栃木市	80.5	宇都宮市	87.0	さくら市	71.8	真岡市	86.8	益子町	91.1
日光市	79.8	大田原市	85.6	矢板市	71.7	小山市	86.4	日光市	91.0
那須烏山市	79.1	鹿沼市	84.8	日光市	69.8	足利市	83.9	上三川町	90.9
茂木町	78.6	真岡市	84.8	鹿沼市	68.9	上三川町	83.3	芳賀町	89.8
芳賀町	78.0	下野市	84.5	栃木市	67.8	那須塩原市	82.5	市貝町	88.9
大田原市	77.0	塩谷町	84.2	那須塩原市	67.2	野木町	80.0	那珂川町	88.0
佐野市	76.6	野木町	80.8	大田原市	66.7	さくら市	77.6	那須塩原市	87.9
那須塩原市	75.3	矢板市	78.0	野木町	66.3	大田原市	76.9	足利市	87.3
塩谷町	74.5	那須烏山市	76.5	市貝町	66.3	矢板市	76.2	下野市	86.5
那須町	72.6	市貝町	75.0	茂木町	66.1	塩谷町	75.0	高根沢町	86.4
那珂川町	70.7	芳賀町	75.0	上三川町	65.3	益子町	70.8	野木町	84.6
野木町	70.0	那須塩原市	74.2	芳賀町	65.2	那珂川町	70.8	栃木市	84.3
さくら市	66.7	那須町	74.1	那珂川町	63.9	日光市	66.7	矢板市	84.3
高根沢町	65.2	壬生町	73.0	益子町	61.9	那須烏山市	66.7	さくら市	83.5
益子町	62.6	佐野市	72.7	佐野市	61.8	栃木市	64.5	大田原市	83.2
矢板市	53.8	益子町	71.0	那須町	61.0	高根沢町	50.0	那須町	77.1
宇都宮市	52.1	茂木町	71.0	高根沢町	60.4	宇都宮市	32.0	茂木町	74.2

注1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注2) □：許容値に達しないもの

〈表 3-3〉平成 29(2017)年度市町別精検受診率（個別検診）

（単位：％）

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん（全方式）	
栃木市	—	栃木市	—	栃木市	—	栃木市	—	さくら市	—
佐野市	—	鹿沼市	—	鹿沼市	—	小山市	—	上三川町	—
鹿沼市	—	小山市	—	小山市	—	真岡市	—	益子町	—
小山市	—	真岡市	—	真岡市	—	さくら市	—	茂木町	—
真岡市	—	大田原市	—	大田原市	—	那須烏山市	—	市貝町	—
大田原市	—	矢板市	—	矢板市	—	下野市	—	芳賀町	—
矢板市	—	那須塩原市	—	さくら市	—	益子町	—	壬生町	—
那須塩原市	—	さくら市	—	那須烏山市	—	茂木町	—	塩谷町	—
さくら市	—	那須烏山市	—	益子町	—	市貝町	—	那珂川町	—
那須烏山市	—	益子町	—	茂木町	—	塩谷町	—	鹿沼市	100.0
下野市	—	茂木町	—	市貝町	—	那珂川町	—	矢板市	100.0
益子町	—	市貝町	—	芳賀町	—	矢板市	100.0	那須烏山市	100.0
茂木町	—	芳賀町	—	壬生町	—	芳賀町	100.0	下野市	100.0
市貝町	—	壬生町	—	塩谷町	—	高根沢町	100.0	高根沢町	100.0
芳賀町	—	野木町	—	高根沢町	—	鹿沼市	93.6	那須町	100.0
壬生町	—	塩谷町	—	那須町	—	大田原市	87.5	真岡市	95.0
塩谷町	—	高根沢町	—	那珂川町	—	那須塩原市	86.7	佐野市	90.9
高根沢町	—	那須町	—	足利市	76.6	足利市	85.7	小山市	88.5
那須町	—	那珂川町	—	下野市	76.1	野木町	83.3	栃木市	87.5
那珂川町	—	下野市	88.5	宇都宮市	69.5	壬生町	75.0	足利市	83.5
足利市	89.2	宇都宮市	86.7	日光市	64.2	佐野市	67.7	那須塩原市	77.3
宇都宮市	81.6	足利市	84.1	野木町	60.0	宇都宮市	64.8	日光市	69.2
上三川町	75.0	日光市	68.2	佐野市	53.5	日光市	50.0	宇都宮市	66.7
野木町	46.7	佐野市	67.5	上三川町	43.3	上三川町	50.0	大田原市	55.6
日光市	42.0	上三川町	42.9	那須塩原市	27.7	那須町	0.0	野木町	33.3

注 1) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象

注 2) —：当該年度の要精検者がいないもの、□：許容値に達しないもの

5 平成29(2017)年度がん検診精検の結果について

〈表1〉平成29(2017)年度 がん発見率・早期がん割合・陽性反応適中度

(単位：%)

区分		胃がん		肺がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん (全方式)	
		H28 (2016)	H29 (2017)	H28 (2016)	H29 (2017)	H28 (2016)	H29 (2017)	H28 (2016)	H29 (2017)	H28 (2016)	H29 (2017)
栃木県	がん発見率 (下段は許容値)	0.12	0.13	0.06	0.06	0.17	0.18	0.03	0.03	0.24	0.26
		0.11 以上		0.03 以上		0.13 以上		0.05 以上		0.23 以上	
	陽性反応適中度 (下段は許容値)	1.88	2.16	2.43	3.53	2.76	3.03	1.45	1.18	5.13	6.14
		1.00 以上		1.30%以上		1.90 以上		4.00 以上		2.50 以上	
	早期がん割合 (子宮頸がんは微小浸潤がん割合)	64.81	67.26	38.89	41.58	54.20	60.19	26.92	20.83	72.04	69.23
全国	がん発見率	0.10	$\frac{0.09}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	0.03	$\frac{0.04}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	0.17	$\frac{0.19}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	0.04	$\frac{0.04}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	0.28	$\frac{0.33}{\text{H27}} \frac{(2015)}$
	陽性反応適中度	1.36	$\frac{1.28}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	2.11	$\frac{2.41}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	2.77	$\frac{2.90}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	1.68	$\frac{1.81}{\text{H27}} \frac{(2015)}$	4.15	$\frac{4.15}{\text{H27}} \frac{(2015)}$

出典：全国「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)、許容値「今後の我が国におけるがん検診評価の在り方について」(がん検診事業評価委員会報告書)

注1) 全国値は40歳から69歳まで(ただし、胃がん(平成28(2016)年度以降)は50歳から69歳まで、子宮頸がんは20歳から69歳まで)を対象

注2) 乳がんについて、栃木県は指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象(全方式)、全国は指針方式で受診した者を対象

〈表2〉平成29(2017)年度 検診機関別 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度

検診機関	宇都宮健康 クリニック	宇都宮 東病院	宇都宮市 医療保健 事業団	栃木県保健 衛生事業団	医療機関 個別委託分	許容値
【胃がん】						
1次検診受診者数	14,028	7,766	6,902	41,102	15,899	—
がんであった者	13	7	7	54	32	—
要精検率(%)	4.06	2.32	8.01	8.62	2.37	11.00以下
がん発見率(%)	0.09	0.09	0.10	0.13	0.20	0.11以上
陽性反応適中度(%)	2.28	3.89	1.27	1.52	8.49	1.00以上
【肺がん】						
1次検診受診者数	23,984	14,304	15,968	78,672	37,795	—
がんであった者	9	7	1	53	31	—
要精検率(%)	1.03	1.86	0.59	1.57	2.69	3.00以下
がん発見率(%)	0.04	0.05	0.01	0.07	0.08	0.03以上
陽性反応適中度(%)	3.66	2.63	1.06	4.30	3.05	1.30以上
【大腸がん】						
1次検診受診者数	24,520	14,546	15,871	77,080	37,437	—
がんであった者	29	23	18	114	121	—
要精検率(%)	4.82	5.20	6.02	5.23	8.39	7.00以下
がん発見率(%)	0.12	0.16	0.11	0.15	0.32	0.13以上
陽性反応適中度(%)	2.46	3.04	1.88	2.83	3.85	1.90以上
【子宮頸がん】						
1次検診受診者数	9,252	6,667	6,414	38,623	28,361	—
がんであった者	2	1	0	7	14	—
要精検率(%)	1.77	0.66	2.92	2.79	1.98	1.40以下
がん発見率(%)	0.02	0.01	0	0.02	0.05	0.05以上
陽性反応適中度(%)	1.22	2.27	0	0.65	2.50	4.00以上
【乳がん】(全方式)						
1次検診受診者数	14,351	9,515	6,695	44,653	13,122	—
がんであった者	30	17	42	116	29	—
要精検率(%)	2.42	5.23	6.20	3.92	6.06	11.00以下
がん発見率(%)	0.21	0.18	0.63	0.26	0.22	0.23以上
陽性反応適中度(%)	8.65	3.41	10.12	6.63	3.65	2.50以上

注) 乳がんは、指針方式によらずに受診した者を含む全ての受診者を対象